



平成 23 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 東日本旅客鉄道株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 清野 智
(コード番号 9020 東証第一部、大証第一部、名証第一部)
問 合 せ 先 広報部長 前川 忠生
(TEL 03-5334-1300)

東日本大震災の影響及び業績予想との差異に関するお知らせ

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災につきまして、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

現在までに判明した当該震災による影響と、平成 23 年 3 月期業績予想と本日公表の同実績との差異について、下記によりお知らせいたします。

記

1. 東日本大震災の影響について

(1) 平成 23 年 3 月期業績への影響

① 営業収益の減少について

東日本大震災に伴う列車の運転休止やショッピングセンター等の営業休止に加え、消費自粛の広がりや福島第一原子力発電所事故による出控えなどの影響を受けて、平成 23 年 3 月期における当社グループの営業収益は 590 億円程度減少したものと算定しております。このうち、当社の運輸収入の減少額は 420 億円程度と算定しております。

② 特別損失の計上について

東日本大震災により被害を受けた鉄道施設等にかかる復旧費用の支出額及び固定資産の滅失による除却費等を「災害による損失」として 17 億円、復旧費用等の見積り額を「災害損失引当金繰入額」として 569 億円、合計 587 億円を特別損失に計上しております。

ただし、常磐線、仙石線などの津波による被害を受けた太平洋沿岸線区の一部について、その復旧にあたっては、地域全体の復興やまちづくりの計画策定と一体となって進めていく考えであり、現時点では復旧費用等を合理的に見積ることは困難であることから、災害損失引当金に含めておりません。

(2) 資本的支出

(1) ②の損失のほか、災害復旧工事に伴い発生する資本的支出のうち、現時点において判明しているものは、80 億円程度であります。

ただし、常磐線、仙石線などの津波による被害を受けた太平洋沿岸線区の一部については、上述の理由により当該金額に含めておりません。

(3) その他

平成 23 年 4 月以降においても、東北新幹線及び在来線において一部運転を見合わせております。また、断続的に発生している地震により、鉄道施設等にさらなる被害を受けております。このため平成 24 年 3 月期において、営業収益の減少及び追加の復旧費用等の支出が見込まれます。

2. 業績予想と実績との差異について（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

（1）平成 23 年 3 月期通期連結業績予想と実績との差異（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	2,593,000	371,000	277,000	141,000	356.45
今回実績（B）	2,537,353	345,086	254,564	76,224	192.69
増減額（B－A）	△55,646	△25,913	△22,435	△64,775	
増減率（％）	△2.1	△7.0	△8.1	△45.9	
（ご参考）前期実績 （平成 22 年 3 月期）	2,573,723	344,848	235,137	120,214	303.35

（2）平成 23 年 3 月期通期個別業績予想と実績との差異（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	1,875,000	310,000	220,000	123,000	310.85
今回実績（B）	1,830,289	281,037	195,005	59,434	150.21
増減額（B－A）	△44,710	△28,962	△24,994	△63,565	
増減率（％）	△2.4	△9.3	△11.4	△51.7	
（ご参考）前期実績 （平成 22 年 3 月期）	1,882,552	282,624	178,361	100,079	252.47

（3）差異の理由

1. に記載した東日本大震災の影響等により、連結・個別ともに、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は、いずれも前回予想値を下回りました。

以 上